

第2節 感染症

1 結核予防

(1) 新登録状況

表1 新登録状況（市町別・年齢別）

（平成25年）

	総数	活動性結核					罹患率 (人口10万 対)	潜在性 結核 感染症 治療中 (別掲)	
		総数	肺結核活動性			肺外 結核 活動性			
			喀痰塗 抹陽 性	その他 結核 菌性 陽	菌陰性・ その他				
管内計	34	31	14	15	2	3	12.9	6	
市 町 別	かほく市	2	2	1	1	-	-	5.8	-
	白山市	14	14	9	4	1	-	12.8	3
	野々市市	5	3	3	3	-	2	9.1	1
	津幡町	11	11	4	6	1	-	29.8	1
	内灘町	2	1	-	1	-	1	7.4	1
年 齢 別	29歳以下	3	2	1	1	-	1	3.7	1
	30～39歳	2	2	1	-	1	-	5.7	-
	40～49歳	2	2	1	1	-	-	5.4	3
	50～59歳	2	2	1	1	-	-	6.6	2
	60～69歳	8	8	4	4	-	-	21.6	-
	70歳以上	17	15	6	8	1	2	42.6	-

(2) 治療状況

表2 肺結核塗沫陽性者初回治療コホート

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
治療成功割合	62.50	100	66.67	76.92	73.52	55.56	40.00
治療失敗脱落中断割合	0	0	0	0	0	0	0
死亡割合	37.50	0	8.33	23.08	11.76	27.78	20.00
情報不明割合	11.11	0	1.82	0	3.61	0	0

(3) 定期健康診断実施状況

表3-1 定期健康診断状況

(平成25年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検査内容			患者 発見数	発病の 恐れのある者
				ツ反	間接撮影	直接撮影		
事業主	10,761	9,985	92.8		3,259	6,771	-	-
学校長	5,040	5,014	99.5		4,902	115	-	-
施設長	1,919	1,778	92.7		831	947	-	-
市町長	49,850	12,838	25.8		5,964	6,874	-	-
合計	67,570	29,615	43.8	-	14,956	14,707	-	-

表3-2 定期健康診断状況(市町別)

(平成25年度)

区分	対象者	受診者	受診率 (%)	患者発見数	発病の恐れのある者	
一般住民 検診	管内	49,850	12,911	25.9	0	0
	かほく市	7,945	3,356	42.2	0	0
	白山市	21,064	2,857	13.6	0	0
	野々市市	7,050	2,869	40.7	0	0
	津幡町	7,495	1,934	25.8	0	0
	内灘町	6,296	1,895	30.1	0	0

(4) 接触者健診

表4 接触者健診

(平成25年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	保健所実施分				医療機関委託			その他実施分	発見患者数	発病の恐れ	
				(実)	検査内容内訳			(実)	検査内容内訳					
					QFT	間接撮影	直接撮影		ツ反	間接撮影				直接撮影
患者家族	70	70	100.0	30	30			31	-	-	30	9	2	1
その他	225	225	100.0	91	89	-	2	80	17	-	77	54	-	2
合計	295	295	100.0	121	119	-	2	111	17	-	107	63	-	3

(5) 管理検診

表5 管理検診

(平成25年度)

対象者数	受診者数	受診率 (%)	受診機関			要医療者数	要医療率	再発の恐れのある者
			保健所	委託医療機関	その他			
127	125	98.4	-	78	47	-	-	-

(6) 結核対策特別促進事業

表6 結核対策特別促進事業内容一覧

(平成25年度)

事業名	事業の目的	実施期間 (日時)	対象	内容
医師研修会	診断治療にあたる医師に対し、最近の結核医療についての知識の普及を図り、適切な結核医療を推進する。	10月11日(金) 19:00~21:00	対象者 結核医療に携わる医師および医療従事者等 参加者：37人	講演 「新しい知見に基づいた結核対策～潜在性結核感染症治療指針、院内感染対策について～」 講師：公益財団法人結核予防会 結核研究所 対策支援部 企画医学科 科長 平山 隆則 先生
普及啓発事業	結核に対する正しい知識を普及し、地域における結核予防の推進を図る。	11月6日(水) 13:30~16:30	対象者 保育所・幼稚園・高齢者福祉施設等関係職員、市町関係職員等 参加者：166人	講話 「結核予防対策について」 講師：石川中央保健福祉センター職員

2 感染症予防

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に関する法律(以下感染症新法)」は、感染症の予防及びそのまん延の防止を目的として国及び地方公共団体が感染症をめぐる状況の変化や感染症の患者等が置かれてきた状況を踏まえ、これらの者の人権に配慮しつつ、総合的かつ計画的に対策を推進することを基本理念としている。

平成15年11月、検疫体制の強化、緊急時における国内感染症対策の強化、動物由来感染症対策の強化を目的として、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律(以下改正法)」が施行された。また、平成18年6月にインフルエンザ(H5N1)が指定感染症として定められている。

さらに、平成18年10月には、病原体等の管理体制や感染症をめぐる環境の変化、結核対策における見直しの必要性から、病原体等の管理体制の確立、感染症分類の見直し、結核予防法を廃止し感染症法に統合、患者の人権尊重のための手続きの改善、感染症に関する情報公開・収集について、法改正がなされ、平成19年4月(病原体等の管理体制については平成19年6月)に施行された。改正法では、感染症新法における感染症の類型区分をさらに見直し、一類感染症に南米出血熱を追加し、二類感染症に重症急性呼吸器症候群を位置づけ、結核を追加し、三類感染症にコレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスを位置づけた。

平成20年5月には鳥インフルエンザ(H5N1)が二類感染症に指定され、さらに平成25年5月には鳥インフルエンザ(H7N9)が指定感染症に定められた。

保健所では、医師の届出に基づき、感染源等の調査や二次感染予防のための指導を行っている。また、地域での研修会や健康教育を通して、関係機関が感染症について知識を持ち、感染症予防及び感染症発生時に適切な対応ができるよう支援している。

(1) 感染症発生状況(一類・二類・三類・四類・五類は全数把握分のみ)

表1 一類・二類・三類感染症の発生状況(年次別発生件数)

疾患別		年																				
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25											
一類 感染症	1	エボラ出血熱																				
	2	クリミア・コンゴ出血熱																				
	3	痘そ																				
	4	南米出血熱*1																				
	5	ペスト																				
	6	マールブルグ病																				
	7	ラッサ熱																				
二類 感染症	1	急性灰白髄炎																				
	2	結核*1				35	32	48	49	60	33	39										
	3	ジフテリア																				
	4	重症急性呼吸器症候群*1																				
	5	鳥インフルエンザ(H5N1)*2																				
三類 感染症	1	コレラ	1																			
	2	細菌性赤痢	1	1		1	1	2														
	3	腸管出血性大腸菌感染症	17	9	14	39	37	15	26	18	8	13										
	4	腸チフス																				
	5	パラチフス																				

*1 平成19年4月の感染症新法の改正により新たに全数把握の対象となった疾患(結核については平成19年4月からの集計であり、潜在性結核感染症を含む)

*2 平成20年5月の感染症新法の改正により全数把握の対象に追加された疾患

表2 四類・五類感染症（全数把握）の発生状況（石川中央管内・年次推移）

疾患別		年	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1	E型肝炎											1
2	ウエストナイル熱											
3	A型肝炎	3		1	1							
4	エキノコックス症											
5	黄熱											
6	オウム病											
7	オムスク出血熱*3											
8	回帰熱											
9	キャサヌル森林病*3											
10	Q熱											
11	狂犬病											
12	コクシジオイデス症											
13	サル痘											
14	重症熱性血小板減少症候群*5											
15	腎症候性出血熱											
16	西部ウマ脳炎*3											
17	ダニ媒介脳炎*3											
18	炭疽											
19	チクングニア熱											
20	つつが虫病											
21	デング熱											
22	東部ウマ脳炎*3											
23	鳥インフルエンザ											
24	ニパウイルス感染症											
25	日本紅斑熱											
26	日本脳炎											
27	ハンタウイルス群 肺症候											
28	Bウイルス病											
29	鼻疽*3											
30	ブルセラ症											
31	ベネズエラウマ脳炎*3											
32	ヘンドラウイルス 感染症*3											
33	発しんチフス											
34	ボツリヌス症											
35	マラリア											
36	野兔病											
37	ライム病											
38	リッサウイルス感染症											
39	リフトバレー熱*3											
40	類鼻疽*3											
41	レジオネラ症		1		2	3	1	3	7	1	2	
42	レプトスピラ症											
43	ロッキー山紅斑熱*3											

表 2 (つづき)

疾患別		年	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
五 類 感 染 症	1	アメーバ赤痢			2			2		1	1	2	
	2	ウイルス性肝炎			1		1						
	3	急性脳炎		3	2	2		1	1	2			
	4	クリプトスポリジウム症											
	5	クロイツフェルト・ヤコブ病			1						1		
	6	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1		1	2	1	
	7	後天性免疫不全症候群											
	8	ジアルジア症						1					
	9	侵襲性インフルエンザ菌感染症*6											1
	10	侵襲性肺炎球菌感染症*6											3
	11	侵襲性髄膜炎菌感染症*6											
	12	先天性風しん症候群											
	13	梅毒						1	1	1	1		2
	14	破傷風								1			
	15	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症											
	16	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											
	17	風しん*4											3
	18	麻疹*4						3					

*3 平成19年4月の感染症新法改正により新たに全数把握の対象となった疾患

*4 平成20年1月1日より全数把握の対象となった疾患

*5 平成25年3月4日より全数把握の対象となった疾患

*6 平成25年4月1日より全数把握の対象となった疾患及び名称変更となった疾患

平成11年3月以前は伝染病予防法等の法律、平成11年4月から平成15年11月4日までは感染症新法、平成15年11月5日以降は改正法に基づく届出による。

(2) 感染症発生状況 (五類 定点把握)

ア 月別発生状況 (人数)

表3 小児科・内科・眼科疾患 (週報)

(平成25年)

感 染 症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
インフルエンザ	管内	1163	1284	1157	455	162	4	0	0	0	1	2	59	4290
	県内	4240	4121	3154	1546	660	17	3	0	0	3	29	127	13900
RSウイルス感染症	管内	2	5	4	10	4	3	1	8	45	7	6	25	120
	県内	31	20	16	33	23	9	7	28	116	124	95	118	620
咽頭結膜熱	管内	7	16	11	8	19	26	10	11	3	27	26	33	197
	県内	57	58	33	54	100	122	67	50	16	39	70	149	815
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	143	197	166	99	64	37	18	10	12	17	17	24	804
	県内	629	742	813	592	527	341	180	135	126	126	122	171	4504
感染性胃腸炎	管内	264	338	303	349	372	235	100	123	75	153	325	638	3275
	県内	894	915	877	989	908	557	290	317	262	464	993	1607	9073
水痘	管内	75	30	46	63	117	75	29	26	25	51	73	131	741
	県内	139	110	128	143	248	165	87	53	43	76	172	307	1671
手足口病	管内	17	19	10	9	18	22	126	253	164	62	30	3	733
	県内	55	98	61	23	41	76	292	912	488	201	69	29	2445
伝染性紅斑	管内	2	0	1	0	1	0	0	0	0	3	8	5	23
	県内	4	1	1	2	1	0	1	1	2	3	10	8	34
突発性発しん	管内	23	15	22	17	37	26	31	29	30	30	24	12	296
	県内	53	45	51	56	77	73	64	81	52	80	45	39	716
百日咳	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	1	2	2	90	99	5	2	0	0	201
	県内	1	0	0	1	8	32	500	403	60	28	6	4	1043
流行性耳下腺炎	管内	1	0	5	4	7	4	5	13	11	8	3	8	69
	県内	10	18	21	18	33	22	14	17	23	18	11	34	239
急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	管内	3	2	0	2	5	6	4	7	3	4	0	6	42
	県内	3	5	0	6	10	10	6	11	5	7	8	15	86
細菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	25	24	14	29	34	35	13	18	15	9	13	5	234
クラミジア肺炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表4 STD疾患・薬剤耐性菌感染症（月報）

（平成25年）

感染症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
性器クラミジア 感染症	管内	6	8	7	5	5	5	5	5	8	7	4	5	70
	県内	32	24	27	15	18	23	18	20	21	27	20	22	267
性器ヘルペス ウイルス感染症	管内	0	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	6
	県内	6	6	6	7	4	10	8	8	1	9	3	5	73
尖圭 コンジローマ	管内	0	0	1	0	0	1	2	0	2	1	0	1	8
	県内	2	1	4	3	6	6	2	3	4	3	3	5	42
淋菌感染症	管内	4	3	5	3	6	4	2	3	5	4	5	3	47
	県内	12	8	14	12	13	9	11	11	9	8	8	6	121
メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	管内	7	2	3	3	5	1	4	4	5	7	2	4	47
	県内	17	15	13	17	22	14	22	22	20	21	21	22	226
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	1	1	0	3	1	1	1	1	2	0	4	0	15
薬剤耐性緑膿 菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性アシネト バクテラ感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※薬剤耐性アシネトバクテラ感染症は平成24年1月14日に5類感染症に追加された。

イ 疾患別発生状況（石川中央管内・定点あたり報告数）

図1 インフルエンザ・小児科定点把握疾患発生状況の月別推移（平成21～25年）

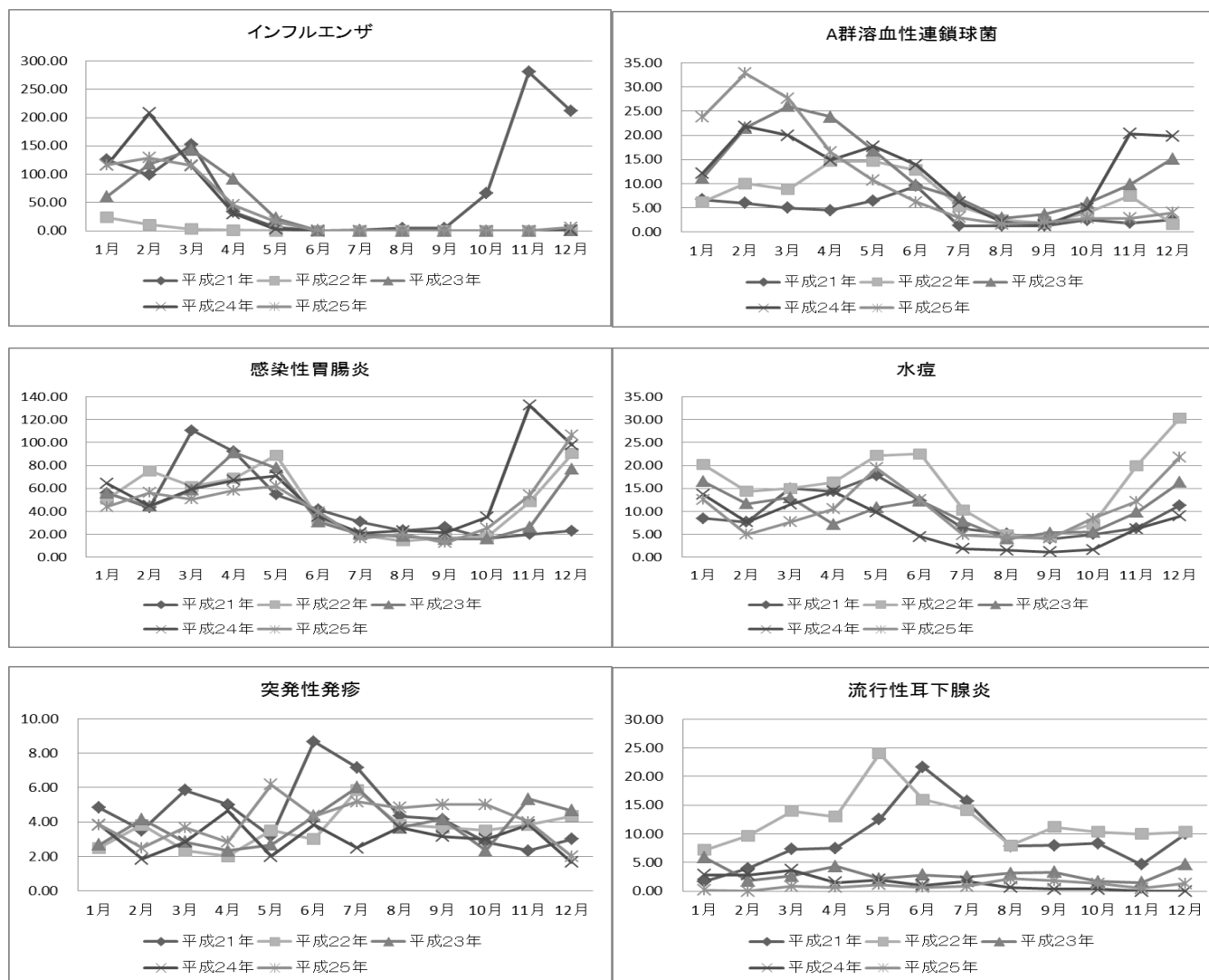


図2 S T D 疾患の年齢別発生状況（平成25年）

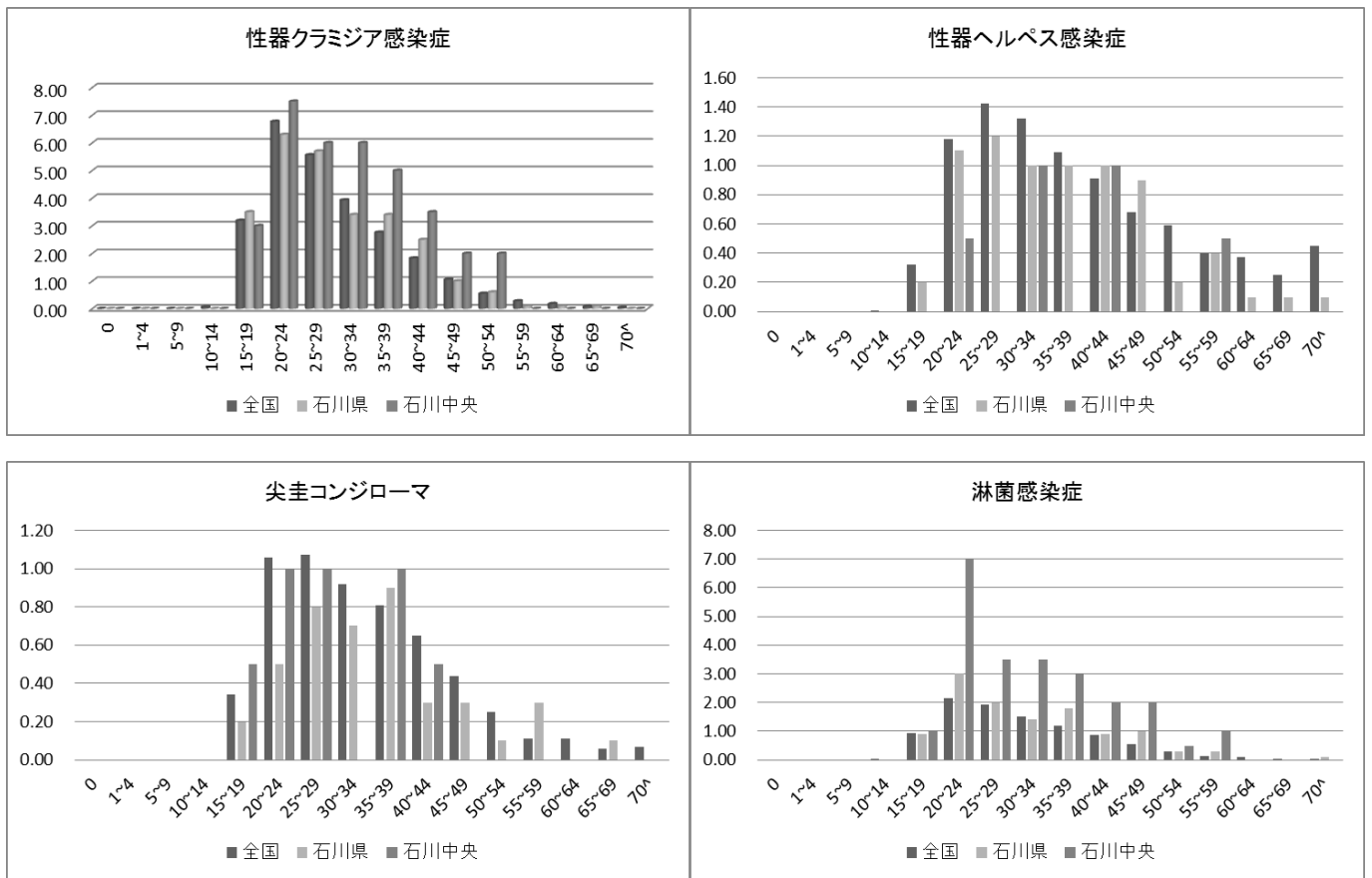
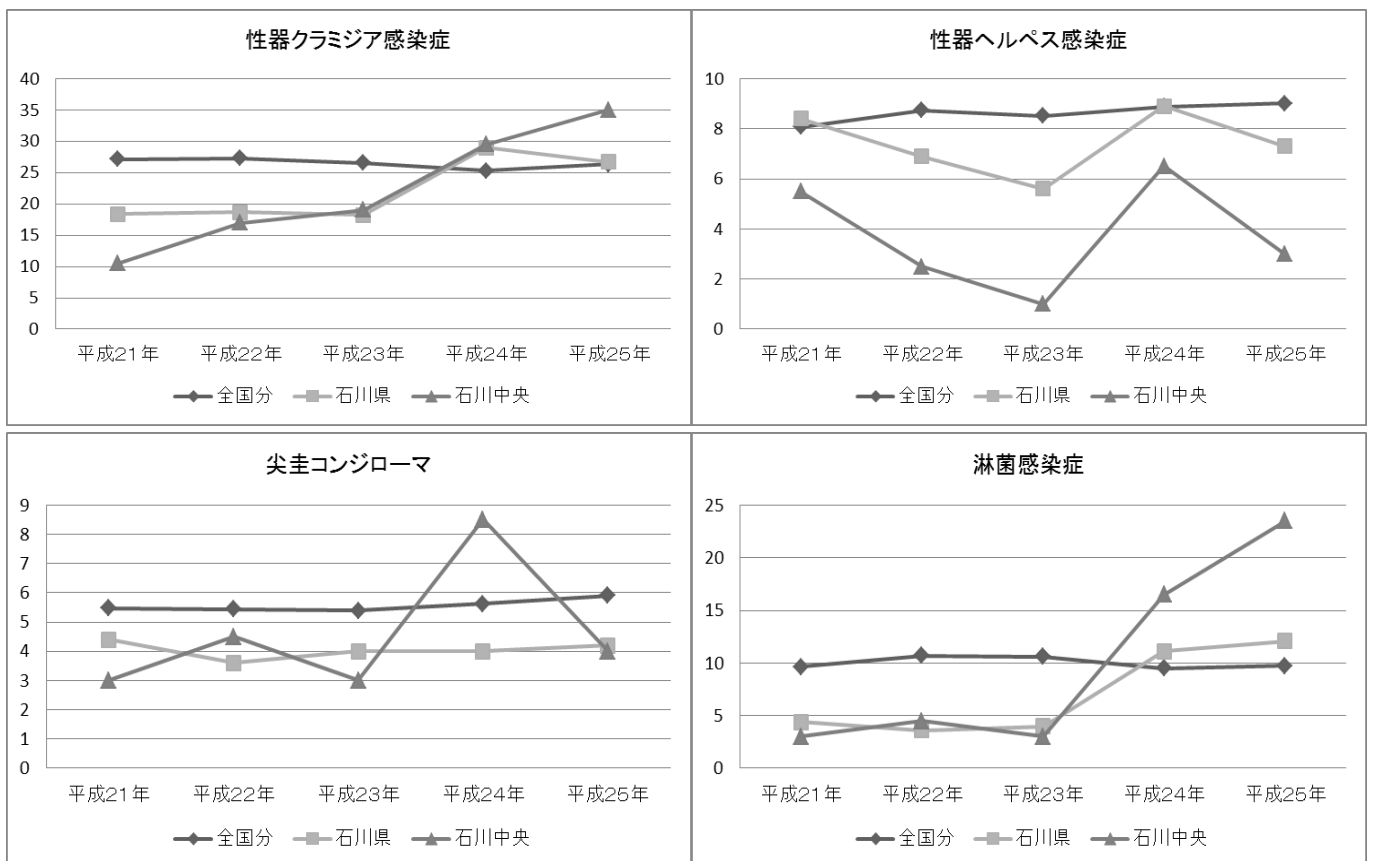


図3 S T D 疾患発生状況の経年推移



(3) 感染症予防相談・訪問指導

表4 感染症予防相談・訪問指導状況

(平成25年度)

区分	1類感染症		2類感染症		3類感染症		4類感染症		5類感染症		その他		計		
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	
相談	来所	—	—	14	42	7	15	0	0	263	299	0	0	284	356
	電話	—	—	—	910	—	84	—	14	—	159	—	119	—	1,286
訪問指導	—	—	49	102	9	10	4	5	3	4	3	4	68	125	

(4) 感染症検査

表5 感染症検査実施状況

(平成25年度)

区分	患者・患者との接触者	食品取扱従事者	給食施設従事者	水道給水従事者	その他	計
検査	—	—	—	—	—	—
件数	31	5	—	—	—	36
陽性件数	3	—	—	—	—	3

(5) 感染症予防研修会

(平成25年度)

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加人数
平成25年11月6日(水) 13:30~16:30 いしかわ総合 スポーツセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「結核対策と予防接種法の改正について」 講師 石川中央保健福祉センター職員 ・講話「冬期に流行する感染症と感染予防対策の実際について」 講師 公立松任石川中央病院 感染管理認定看護師 嶋田 由美子氏 ・実技「ノロウイルスの吐物処理について」 講師 石川中央保健福祉センター職員 助言者 公立松任石川中央病院 感染管理認定看護師 嶋田 由美子氏 	保育所・幼稚園・ 高齢者福祉施設 等の担当者 市町担当者	166人

(6) 感染予防のための施設巡回指導

(平成 25 年度)

実施日	施設数
平成25年 7月11日～平成25年7月18日	かほく市立保育所 10 施設
平成25年11月15日	野々市市立保育所 2 施設
平成25年11月22日	内灘町立保育所 2 施設
平成25年11月26日～平成25年11月27日	白山市立保育所 3 施設
平成25年12月12日～平成26年 1月 9日	認可外保育施設 3 施設
平成25年10月28日～平成26年 1月29日	白山市地域密着型高齢者施設 7 施設

(7) 感染症に関する健康教育

(平成 25 年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加人数
平成 25 年 10 月 21 日 (月) 14:40～16:10 石川県立看護大学	看護大学4年次学生 感染看護学選択者	講義「地域における感染症対策に関する看護専門 職の役割と支援活動の実際」 講師：石川中央保健福祉センター職員	20 人
平成 25 年 11 月 2 日 (土) 10:25～10:45 白山市蕪城小学校	石川県防災総合訓練 参加者 (一般住民)	実技「ノロウイルスの吐物処理方法について」 講師：石川中央保健福祉センター職員	—
平成 25 年 11 月 29 日 (金) 13:30～15:30 石川農林総合事務所	石川農林圏域の鳥イ ンフルエンザ防疫担 当職員	講義・実習「防護服の着脱方法について」 講師：石川中央保健福祉センター職員	26 人
平成 25 年 12 月 4 日 (水) 14:00～15:00 ニッコー株式会社	ニッコー社員	講義「ノロウイルスの二次感染予防について」 講師：石川中央保健福祉センター職員	20 人
平成 25 年 12 月 7 日 (土) 11:30～15:00 石川県消防学校	自主防災組織関係者	実技「ノロウイルスの吐物処理方法について」 講師：石川中央保健福祉センター職員	—
平成 25 年 12 月 19 日 (木) 9:30～11:30 石川県消費生活センター	県央農林圏域の鳥イ ンフルエンザ防疫担 当職員	講義・実習「防護服の着脱方法について」 講師：石川中央石川中央保健福祉センター職員	46 人
平成 25 年 12 月 18 日 (水) 10:15～11:15 FMののいち	ラジオリスナー	講義「冬に流行する感染症 (ノロウイルス・イン フルエンザ) について」 講師：石川中央保健福祉センター職員	—
平成 26 年 2 月 6 日 (木) 10:00～11:00 沢田工業株式会社	沢田工業社員	講義「冬に流行する感染症 (ノロウイルス・イン フルエンザ) について」 講師：石川中央保健福祉センター職員	30 人

3 エイズ・性感染症予防

(1) HIV患者・感染者届出状況

表1 HIV患者・感染者届出状況(平成25年12月29日現在)

	HIV感染者	AIDS患者
全 国	15,783	7,188
石 川 県	63	33

※凝固因子製剤による患者・感染者は除く

(2) エイズ相談・検査

表2 エイズ相談・検査実施状況

年度	区分 地域別	相談受付件数			相談内容(再掲)		検査(再掲)	相談方法(再掲)	
		男	女	計	相談のみ	検査依頼	迅速検査	来所	電話
平成20年度	石川中央	128	73	201	22	179	136	184	17
	河北地域センター	47	35	82	44	38		41	41
平成21年度	石川中央	74	39	113	14	99	73	101	12
	河北地域センター	46	10	56	16	30		31	25
平成22年度	石川中央	90	54	144	4	140	115	140	4
	河北地域センター	18	10	28	2	26		27	1
平成23年度	石川中央	122	68	190	23	167	144	171	22
	河北地域センター	13	9	22	6	16		16	6
平成24年度	石川中央	135	70	205	13	192	171	192	13
	河北地域センター	21	8	29	25	4		8	21
平成25年度	石川中央	131	65	196	17	179	159	182	14
	河北地域センター	4	3	7	2	5		5	2

(3) 性感染症相談

表3 性感染症相談状況

年度	区分 地域別	相談件数			血液検査受付件数(再掲)			相談方法(再掲)		
		男	女	計	男	女	計	来所	電話・メール	計
平成22年度	石川中央	52	34	86	50	34	84	84	2	86
	河北地域センター	17	9	26	16	9	25	26	—	26
平成23年度	石川中央	62	41	103	62	40	102	102	1	103
	河北地域センター	9	6	15	9	6	15	15	—	15
平成24年度	石川中央	83	41	124	82	38	120	120	4	124
	河北地域センター	19	5	24	3	2	5	7	17	24
平成25年度	石川中央	43	21	64	43	21	64	64	—	64
	河北地域センター	3	2	5	3	2	5	5	—	5

(4) エイズ・性感染症予防に関する普及啓発

ア 講演会

目 的：管内の高校において、生と性の健康について考える機会を提供し、エイズや性感染症に関する正しい知識と予防法を啓発するとともに命の大切さを学ぶ

日 時：平成25年 11月 20日(水) 14：20 ～ 16：00

場 所：石川工業高等専門学校

対象者：2年生の生徒・教職員 206人

講 師：セクシュアリティカウンセラー・助産師 あねざきしょうこ

内 容：生と性の学習会「こころ・からだ・性 ～「性」と「生」の自立をめざして～」

イ 健康教育

日 時：平成25年11月11日(月) 10：40 ～ 12：10

場 所：石川県立大学

対象者：1年生 130人

講 師：石川中央保健福祉センター職員

内 容：性感染症について

ウ 普及啓発・広報

①「HIV検査普及週間(6月1日～7日)」のPR

内 容：管内の大学でポスターの掲示及びチラシ入りのポケットティッシュ配布所内

②「世界エイズデー」のPR

内 容：エイズのリース展示、エイズやレッドリボンのポスター掲示、パンフレットの設置

日 時：平成25年11月25日～12月6日(世界エイズデーの前後)

③ラジオ(FM-N1)での広報

内 容：保健所「エイズ／性感染症相談・検査」事業のPR 等

日 時：平成25年11月20日(水) 10：15～11：15

④成人式でのチラシの配布

内 容：保健所のエイズ検査のPR 等

4 ウイルス肝炎対策

(1) ウイルス肝炎相談・検査

肝炎ウイルス検査は、40歳以上の者を対象に平成14年度から実施しており、平成15年度からは、40歳未満の者に対し有料検査が追加されていた。平成19年12月からは、40歳未満の者に対しても無料で検査を実施している。

平成19年12月に厚生労働省が、フィブリノゲン製剤投与の可能性がある方へのC型肝炎検査受診の呼びかけを行い、平成20年度からは、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業の実施により、医療機関でも検査を受けられるようになった。

表1 ウイルス肝炎相談・検査実施状況 (平成25年度)

年度	区分 地域別	相談件数	血液検査受付件数(再掲)		
			男	女	計
平成22年度	石川中央	400	49	38	87
	河北地域センター	187	15	10	25
平成23年度	石川中央	261	54	36	90
	河北地域センター	124	8	5	13
平成24年度	石川中央	297	75	37	112
	河北地域センター	167	3	1	4
平成25年度	石川中央	271	38	21	59
	河北地域センター	121	0	1	1

(2) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業

平成20年4月より、県民の肝炎ウイルス検査の受診機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図る事を目的として、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業が始まり、医療機関においても無料で検査を実施できるようになった。

検査の対象者は、県内(金沢市を除く)に居住する20歳以上の希望者で、過去に肝炎ウイルス検査を受けた事がなく、健康増進法その他の法令に基づく事業において肝炎ウイルス検査の受診の機会がなかった者である。

平成25年度の管内受診者は111人(昨年度116名)で、その内B型肝炎陽性者は0名(昨年度2名)、C型肝炎陽性者は1名(昨年度2名)確認された。陽性者については、当保健所から受診勧奨や研修会参加勧奨等のフォローアップを実施した。

(3) 研修会

表2 肝炎ウイルス感染者等支援事業(肝炎に関する講演会) (平成25年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加状況
平成25年11月25日 14:00~15:50 津幡町役場	かほく市、津幡町・内灘町の平成14~25年度肝炎ウイルス検診要精検者及びその家族 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業において陽性となった者及びその家族 管内市町肝炎ウイルス検診担当者等	講演 「C型肝炎、B型肝炎との上手なつきあい方 ~すこやかな日常生活を送るために~」 講師：金沢医科大学 肝胆膵内科 准教授 土島 睦 氏	13人 (市町:2人)

5 予防接種

表1 管内市町予防接種担当者連絡会

(平成25年度)

日時・会場	対 象	内 容	参加状況
平成26年2月28日 10:45～12:00 石川中央保健福祉センター	市町予防接種担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期の予防接種における質の向上について ・ BCGの針痕数調査の実施状況について ・ 高齢者インフルエンザ[※]予防接種の委託医療機関について ・ 県外での予防接種者への対応について ・ 予防接種委託契約の方法について ・ 予防接種の接種券、予診票の様式(冊子) 	管内5市町 及び当所担 当者 6人